

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 11 日

評価対象事業		評価者	公的不動産活用課担当課長 鈴木 康之		
行経-09	実施事業	庁舎管理事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	公的不動産活用課(管財課)
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営	

1 事業の目的

対象	市庁舎
意図	市庁舎の維持保全を図るため。
効果	設備関係の改修を重点的にを行い、市庁舎の機能改善を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>市庁舎の総合管理業務及び維持修繕等を行った。</li> <li>災害発生時における本庁舎の機能維持対策を実行するための具体的な整備内容等を示した、鎌倉市本庁舎機能維持実施計画を策定した。</li> <li>機構改革に伴う電話移設修繕については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	人口	176,308人	81,763世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数				事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	221,860	214,223		当初予算(千円)	237,586		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	13,008	13,645		その他	12,832		
	一般財源	208,852	200,578		一般財源	224,754		
	人員配置数	6.1	4.8		人員配置数	4.4		
	人件費(千円)	46,423	37,240		人件費(千円)	35,146		
事業運営	総事業費(千円)	268,283	251,463		総事業費(千円)	272,732		
	市民1人当りの経費(円)	1,517	1425		市民1人当りの経費(円)	1,547		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	鎌倉市本庁舎機能維持実施計画に基づく整備について、平成30年度に予算を増額して実施するが、以後は建物の老朽化に伴う設備改修や日常的な修繕について、現状の予算規模を維持しつつ計画的に実施していく。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	鎌倉市本庁舎機能維持実施計画に基づく災害対策、機能維持に係る整備について、平成30年度に予算を増額して実施するが、庁舎移転までの現本庁舎の機能維持に向けた設備改修や修繕については、効率的な予算執行が求められることから、事業内容や予算規模については現状維持とする。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	未改修部分の老朽化の進行、災害発生時の本庁舎機能維持を図るための基本方針に基づく実施計画作成及び実施に向けた取組み。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時に業務継続計画を行うための施設として必要な機能維持対策を講じるための具体的な整備内容を示した鎌倉市本庁舎機能維持実施計画を策定した。</li> <li>・庁舎内LED化、No.3エレベータの改修、第3分庁舎の空調機更新、庁舎内の電気、給排水、建築設備、消防設備等の維持修繕を行った。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉市本庁舎機能維持実施計画に基づく整備内容の関係各課への周知及び計画に基づく整備の実施。</li> <li>・本庁舎の移転を視野に入れた庁舎の修繕。修繕が必要であり、かつ、多額の費用が発生する場合の対処についての検討。</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考			
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--